YPS-80B 組立要領書

作図中のネジに関しての表現で、「開」は外す、「閉」は締める事を示します。

■梱包形態（1台当たり:5ヶ口）

名　　称		個　数	質　量
消火薬剤貯蔵タンク		3	約48kg×3
格納箱	露出型:ベース台付 予備封板	1	約52kg
取付部品セット		1	約20kg

※消火薬剤貯蔵タンクは共通です。左・右・中央の区別はありません。
※質量は梱包ケースを含みます。

■取付部品セット一覧

	取　付　部　品　名　称		個　数
1	加圧用ガス容器 （圧力調整器・加圧チューブ付）		1
2	加圧用ガス容器固定バンド		2
3	ホース（ノズル、ノズル開閉弁付）		1
4	ボルト（M10）（平座金）		6
5	取扱説明書、組立要領書		各1
6	表示灯 セット品	端子台、ビス、配線コード、 配線止め、表示灯カバー、 表示灯ベース台、ビス、ナット、 表示灯用電球	1

■使用工具一覧

工　具　名　称		使　用　箇　所
⊕ドライバー		端子台用ビス
スパナ	サイズ12	加圧チューブ袋ナット
	サイズ17	M10タンク固定ボルト 連結チューブ袋ナット
ラチェット レンチ	サイズ17	M10タンク固定ボルト
モンキー レンチ	サイズ250	ホース袋ナット
	サイズ300	圧力調整器袋ナット

1 ・格納箱に消火薬剤貯蔵タンクを取り付ける。

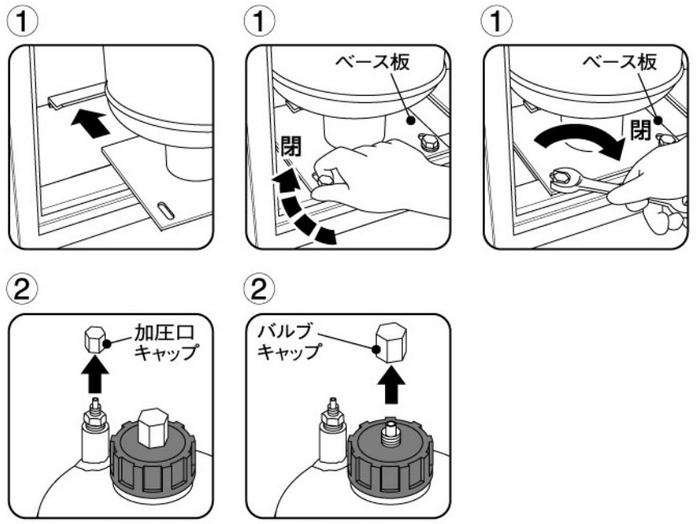
■最初に中央へタンクを取り付けたあと、左右にタンクを取り付けてください。

①タンク完成品を格納箱タンク取付部と同じ高さの台等にのせ、ずらしながら格納箱に入れ、所定のツメにベース板を押し込んでください。ベース板の穴に格納箱のボルト穴を合わせて［M10ボルト］でボルトを完全に締め、ベース板を固定してください。残りのタンクも同様にして、3本のタンクをセットしてください。

②各タンクにセットしているキャップ2カ所のうち加圧口キャップを先に外し、次にバルブキャップを外してください。

※順番を逆にすると消火薬剤がこぼれ出る恐れがあります。

※薬剤がこぼれた場合は変色の恐れがありますので、洗浄し薬剤が残らないように処置してください。

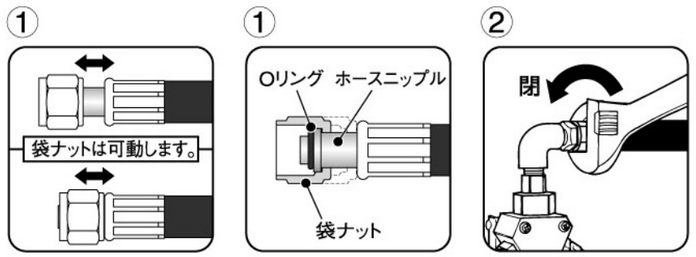


2 ・ホースを取り付ける。

①ホースニップルにOリングのついていることを確認してください。

②ホース接続部に袋ナットを締め付け、手で緩まないことを確認してください。

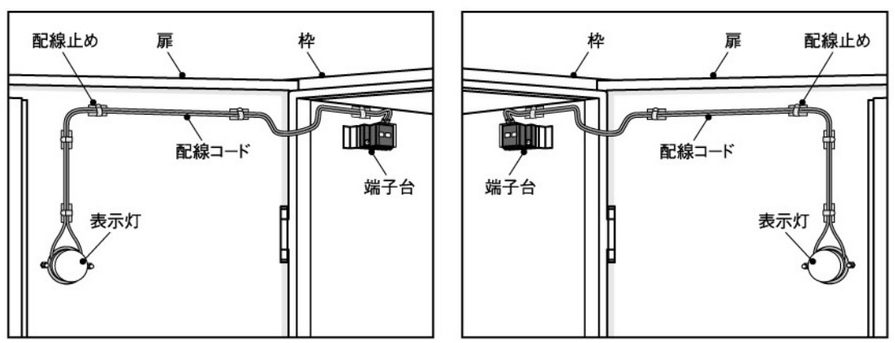
※Oリングがついていないと漏れの原因となりますので、必ず確認してください。

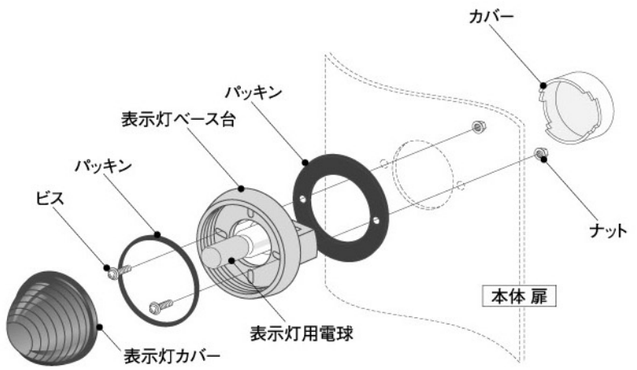


［露出型格納箱］表示灯の取付

●表示灯の配線は、右開き扉・左開き扉のどちらにも配線することが出来ます。

●配線止めは、部品ケースに5個梱包されています。扉の開閉に支障がない適当な位置に取り付けてください。





YPS-80B 組立要領書

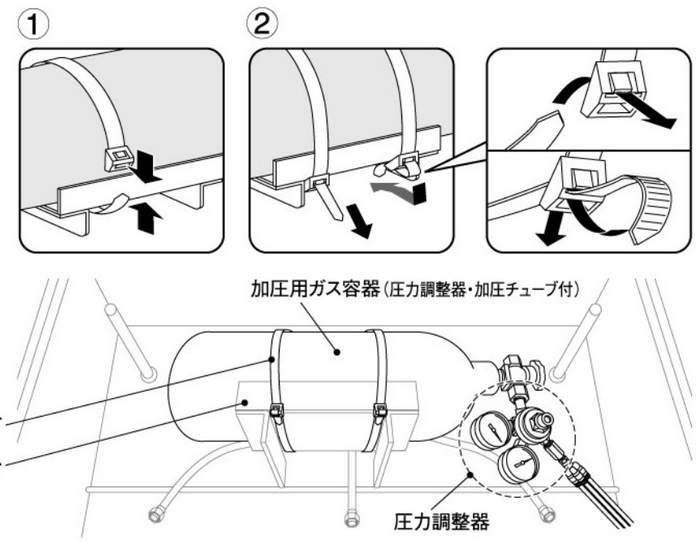
作図中のネジに関しての表現で、「開」は外す、「閉」は締める事を示します。

3・加圧用ガス容器を取り付ける。

①加圧用ガス容器を固定台に乗せてください。
②固定バンドで加圧用ガス容器を固定してください。

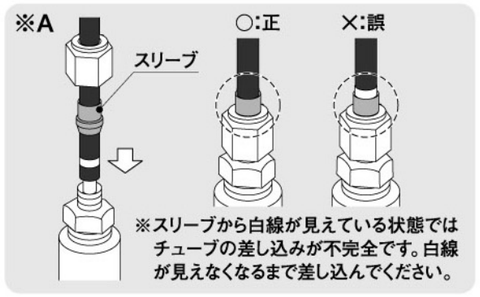
※固定バンドは、必ず容器下部で固定してください。容器前面で固定すると扉が閉まらない場合があります。

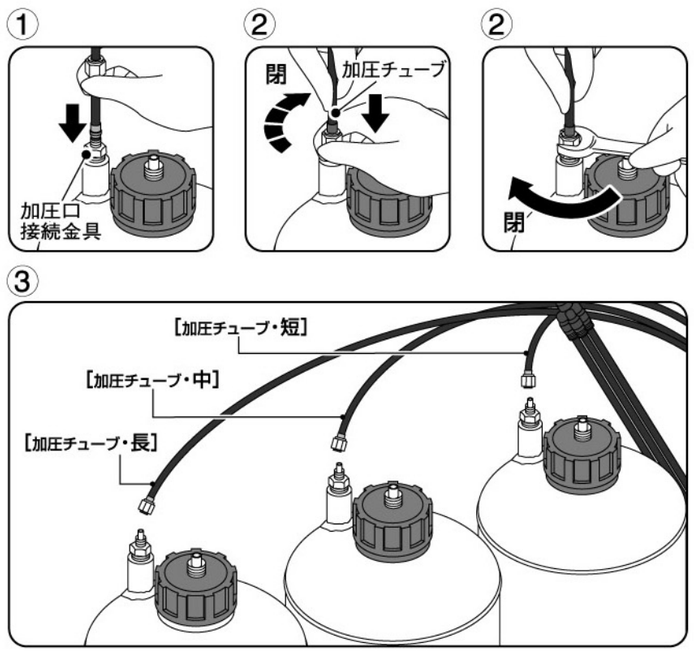
※加圧用ガス容器に接続されている圧力調整器は、右図のような位置になるように、加圧用ガス容器を固定してください。



4・加圧チューブを取り付ける。

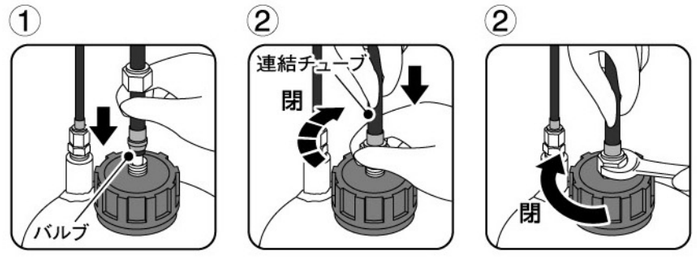
①先に加圧チューブを加圧口接続金具に、きっちりと差し込んでください。
②袋ナットを締め付けるときは、**加圧チューブを押しながら工具を使って締め付け、手で抜けないか確認して**ください。[※A図参照]
（同じ手順で残り2本の加圧チューブも、加圧口接続金具に取り付けてください。）
③加圧チューブは[長・中・短]の3種類がありますので、間違わないように取り付けてください。





5・連結チューブを取り付ける。

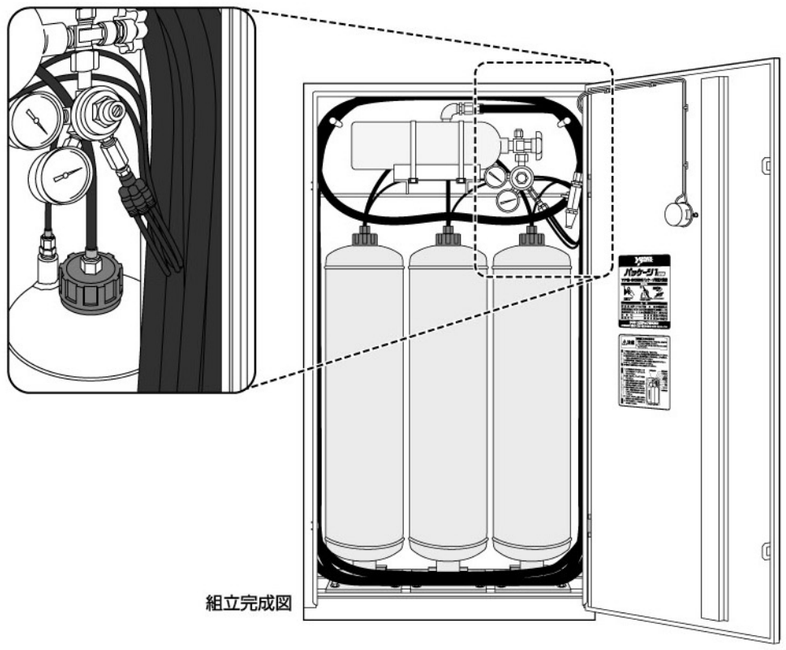
①次に連結チューブをバルブに、きっちりと差し込んでください。
②袋ナットを締め付けるときは、**連結チューブを押しながら工具を使って締め付け、手で抜けないか確認して**ください。[※A図参照]（同じ手順で残り2本の連結チューブも、バルブ部分に取り付けてください。）



6・ホースをセットする。

ホースの巻き方については、「取扱説明書」の2ページを参照してください。

⚠注 意	加圧チューブはホースの後ろ側にセットしてください。



組立完成図

ヤマトプロテック株式会社
0604-1